

第2回 新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会  
議事概要

1. 日 時：令和2年6月26日（金）17：00～18：30

2. 場 所：WEB形式

3. 出席者：石田委員、北嶋委員、竹岡委員、寺井委員、吉田委員、  
岩田委員、岡安委員

4. 議事（概要）

（1）資料1により第1回検討会での指摘事項等に対する分析結果を報告した。

（2）資料2～3の説明後、議論を行った。

（委員からの主な意見）

- 新たな全国版図柄入りナンバーのデザイン提供について、自動車技術会のデザイン部会委員会に相談してみてもどうか。
- 「レガシーを引き継ぐ」、「コロナを乗り越える」がテーマの場合、寄付金の使途が限定的になる。寄付金の使途はなるべくテーマに沿った幅広い取組に活用するという事を考えると、「日本を元気に」、「立ち上がれ！美しい日本」等の方が良いのではないか。
- コロナ等については不確実性があるので、メッセージとして押し出さず、もう少し一般的なメッセージをもう1項目ぐらい増やしても良いのではないか。
- 不良在庫を抱えずリフレッシュさせていく手段として、期間限定ではなく、枚数限定という方法もあるのではないか。
- デザインについては、どのように作り上げて行くかを含めて、デザイナーと考えながら、進めた方が良いのではないか。
- ナンバーの賞味期限は長いので、コロナ危機から乗り越えるというコンセプト自体は、「日本を元気に！」、「立ち上がれ！美しい日本」等の背景に込めることにとどめ、表のメッセージとしては出さない方がよいのではないか。
- 自動車ユーザーへの最近の意識調査等を踏まえると、ドライブやアウトドアに対しては前向きに考えている方が多いという印象がある。ドライブの意欲は、コロナ禍で高まりつつあるのではないか。

- コロナ禍で、車を買いたくなくなったというデータがあると聞いている。
- 自動車は同じ車種でも、ノーマルとカスタムモデルの2種類製造することが多い。これは、同じ車種を購入するユーザー内でも好みが2つに分かれる傾向があるということだと思う。ナンバーについても、方向性の違うものが2つくらいあると、人気が出るのかもしれない。
- 図柄ナンバーは受注生産だが、注文から納品までの日数制限があるので、材料は事前に保管しておく必要がある。例えば、ほとんど出ない自家用の大型車用のナンバーでも、事前保管が必要で、これらは出なければ、不良在庫になることから種類を増やすことについては慎重に検討すべき。
- 車で出かけた人もまだ戻ってきておらず、新しい生活様式により、出かけること以外の選択肢が与えられたということもある。今回のコロナによって、安全と安心が分かれてしまったという印象があり、科学的に安心であったとしても、密度がゼロではないので、どのように「安心」というメッセージを伝えていくかということが重要。車の安心と公共交通の安心も含めて、「楽しいお出かけを安心に」といったフレーズがよいのではないか。
- デザインについては、公募要領に従って一般から広く集めるというのではなくて、デザインの組み方を含め、デザイナーの方々と一緒に作り上げていくスタンスが大事だと思う。
- デザイン団体や、またナンバープレートは自動車に取り付けるものなので、自動車技術会デザイン部会との協議についても、早めに開始できるようにお願いしたい。
- 図柄の種類数については、技術的、採算性等の問題もあるので、これらの事情を踏まえ引き続き、事務局として検討いただければ思う。
- デザインについては、「美しい日本を元気に、安全で安心に楽しくお出かけ」できるようなムーブメントを起こし、日本の絆を強化していくというメッセージを背景と合わせてデザイナーに伝え、デザイナーと協議を進めていただければと思う。

以上